

<記載例>

* この記載例は、代理人が書面で企業価値担保権の抹消の登記を申請する場合のもので
す。

※受付シールを貼るスペースになりますので、
この部分には何も記載しないでください。

登 記 申 請 書

企業価値担保権設定者の表示（注1）

商 号 株式会社〇〇〇〇

本 店 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号

登記の目的 番企業価値担保権抹消（注2）

原 因 令和〇年〇月〇日解除（又は「弁済」等）

権 利 者 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号
株式会社〇〇〇〇
（会社法人等番号 1 2 3 4 - 5 6 - 7 8 9 0 1 2）
代表取締役 （注3）

義 務 者 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号
株式会社〇〇信託銀行
（会社法人等番号 1 2 3 4 - 5 6 - 7 8 9 0 1 1）
代表取締役 （注4）

添付情報

登記済証（注5） 印鑑証明書（注6） 登記原因証明情報（注7） 会社法人等番号
代理権限証明情報（注8）

登記済証を提出することができない理由（注9）

不交付 滅失・紛失 管理支障 取引円滑障害 その他（ ）
登記所に印鑑を提出しています。（注10）

令和〇年〇月〇日申請 法務局（又は地方法務局） 支局（又は出張所）

代 理 人 〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号（注11）
 印
連絡先の電話番号 〇〇 - 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇（注12）

登録免許税 金 6, 0 0 0 円（注13）

＜解説及び注意事項等＞

- (注1) 企業価値担保権を設定した者の名称及び本店の所在場所を記載します。
- (注2) 順位番号(○番)を記載します。記載する順位番号は企業価値担保権区の順位番号(登記済証、登記事項証明書等により御確認ください。)です。
- (注3) 登記権利者として、企業価値担保権を設定した者の本店の所在場所、名称、会社法人等番号及び代表者の氏名を記載します。
- (注4) 登記義務者として、企業価値担保権者の本店の所在場所、名称、会社法人等番号及び代表者の氏名を記載します。
また、登記済証を提出できない場合は、印鑑証明書と同じ印を押す必要があります。
- (注5) 企業価値担保権者の登記済証の原本を添付します。なお、登記済証は登記完了後返却します。
- (注6) 登記済証を提出できない場合は、申請書に記名押印した登記義務者(企業価値担保権者)の代表者の印鑑に関する証明書(作成後3か月以内のもの)を添付します。なお、登記所に印鑑を提出している旨の申出がある場合は添付不要です。
- (注7) 登記原因証明情報(登記の原因となった事実又は法律行為及びこれに基づき現に権利変動が生じたことを証する情報)を添付します。本事例の企業価値担保権の抹消の場合は、企業価値担保権者が作成した解除証書等がこれに当たります。
- (注8) 登記申請に関する委任状(代理人の権限を証する情報)です。
- (注9) 登記済証を提出できない場合は、その理由の□にチェックをします。
なお、登記済証を提出できない場合は、様式の添付情報欄には、「登記済証」を書かないでください。
- (注10) 登記済証を提出できない場合に、登記所に印鑑を提出していれば、□にチェックをします。
- (注11) この記載例は、代理人が申請をする場合の記載です。登記の申請の委任を受けた代理人の氏名又は名称及び住所並びに代理人が法人であるときはその代表者の氏名を記載します。この記載は、委任状の記載と一致している必要があります。
- (注12) 申請書の記載内容等に補正すべき点がある場合に、登記所の担当者から連絡するための連絡先の電話番号(平日の日中に連絡を受けることができるもの。携帯電話の電話番号でも差し支えありません。)を記載してください。
- (注13) 登録免許税額を記載します。なお、登録免許税を現金納付する場合はその領収書を貼り付けた用紙を、収入印紙で納付する場合には収入印紙(割印や消印はしないでください。)を貼り付けた用紙を、申請書と一括してつづり、申請人又はその代理人がつづり目に必ず契印をしてくだ

さい（申請人が2人以上いる場合は、そのうちの1人が契印することで差し支えありません。）。